

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぼひろば		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な職員が訪問を行っている。	・子どものアセスメントを様々な視点から行い、専門的な助言や具体策環境設定、提案などを行っている。 ・施設での様子を見学し、共有しながら支援について話し合い、保護者にフィードバックする。	・今後も継続して保護者や関係機関と連携し、その都度ニーズに合った訪問支援を続けていく。
2	長期的な支援を提供できる。	・時間を調整できるワークバランスであるため、依頼や相談に応じやすく、迅速な対応ができる。	・常に情報共有していく事で、困り感や苦手な事、場面を認識し、その都度対応していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援では観察や助言を中心とした関わりが多く、教具や教材を使った支援については十分に整理できていない。	・教材の使用にとらわれず、子どもの様子や環境を見ながら、関わり方や環境設定などについて助言や提案を行っている。 ・訪問先の状況や負担感に配慮し、取り入れやすい支援を意識している。	・これまで行ってきた観察や助言を中心とした支援を大切にしながら、必要に応じて活用できる教材やツールについても検討していく。 ・訪問先のニーズに合わせて、支援の選択肢を少しずつ広げていく。
2	・父母の会の活動支援や保護者会の開催による保護者同士の交流の機会、ならびにきょうだい向けのイベント等による交流の機会については、十分に設けられていない。	・保護者の参加負担や職員の専門性への配慮から、現時点では個別相談や日常支援を通じた助言や情報提供が中心となっているが、参加の有無にかかわらず、任意で参加できる機会を用意すること自体には意義があると考えている。	・今後は、交流の場にこだわらず、個別相談や情報提供など、保護者の負担が少ない形で支援を検討していく必要がある。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 たんぼほひろば

公表日 2026年2月13日

利用児童数

1人

回収数

1

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な 支援 の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1			・楽しく参加させていただいています。	・今後も継続した支援を続けていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	1			・手厚い支援をしていただいております。	・今後も継続してよい支援が提供できるように努めていきます。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026年2月13日
たんぼぼひろば	利用児童数	1人 回収数1部

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0	本人がストレスに感じていることに対して、すぐに対応を考えてくださったので助かりました。	学校の様子を聞き取ったり見学させていただく事で、本児にあった支援を提案する事ができました。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0	具体策をあげてくださったので、こちらもすぐに対応できました。	本児の困り感を共通認識する事で、いくつかの対応方法を提案させていただく事ができました。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	0	0	1の対応で保護者の協力が必要となったら、すぐに連絡してもらえたので次の日には本人の困りごとが軽減していました。	保護者との振り返り時に、各自でできる事を確認し、本児にとってより良い対応方法について情報共有できた。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		

その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・ありがとうございました。助言のおかげもあり、本人は行事に参加することができました。自信につながったと思います。今後ともよろしく願いいたします。					・今後も保護者、学校等と密に情報共有しながら、本児が安心して意欲を持って過ごせる環境づくりを構築していきたいと考えています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たんぼほひろば		公表日 2026年 2月 13日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。			・事業所から教材の提供は行っていないが、情報提供や施設側の教材を活用した工夫について提案している。	・引き続き実施していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・2名以上の体制で訪問支援を行っている。	・引き続き実施していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月、定期的にミーティングを実施している。	・引き続き実施する。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別での聞き取りを行っている。	・引き続き実施する。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月のミーティングや個別面談を通じて、状況の把握と確認を行っている。	・引き続き実施する。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・計画的に実施している。	・定期的に外部評価を実施していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内研修に限らず、外部研修を受講する機会を積極的に設けている。	・引き続き実施する。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・定期的にあセスメントを実施し、その結果を支援計画に反映している。	・引き続き実施する。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援内容についてはミーティングで確認を行っている。	・引き続き実施する。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・訪問先の意向や考えを確認したうえで計画を行っている。	・引き続き実施する。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティング等で確認を行っている。	・引き続き実施する。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の活動について振り返りを行い、インフォーマルなアセスメントを実施している。	・引き続き実施する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・状況に応じて、直接支援および間接支援を行っている。	・引き続き実施する。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティング等で確認を行っている。	・引き続き実施する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・アセスメント内容や子どもの状況について、職員間で共有している。	・引き続き実施する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・保護者や訪問先へ振り返りを行う前に、内容の確認を行っている。	・引き続き実施する。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先から聞き取りを行い、対応可能な方法を確認している。	・引き続き実施する。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・支援内容について記録を作成し、保護者に確認してもらっている。	・引き続き実施する。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・保護者や訪問先の意向を把握し、支援に反映している。	・引き続き実施する。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者が会議や検討の場に参加している。	・引き続き実施する。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて、他機関との連携を行っている。	・引き続き実施する。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・現状対象児がない為、対象児がいる場合、情報共有を行っている。	・引き続き実施する。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修への参加機会を積極的に設けている。	・引き続き実施する。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・各市町の協議会へ参加している。	・引き続き実施する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・相談対応や助言を行っている。	・引き続き実施する。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・研修案内を行っている。	・引き続き実施する。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、支援内容や重要事項について説明を行っている。	・引き続き丁寧な説明を実施する。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・必要に応じて、パンフレットやガイドラインを用いて説明している。	・引き続き実施する。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントや聞き取りを通して、子どもや保護者の意向を確認している。	・引き続き実施する。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・具体的な説明を行えるように配慮している。	・引き続き実施する。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から積極的に聞き取りを行っている。	・引き続き実施する。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母、きょうだい同士の交流が今後の課題としている。	・実施できるように検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談があった際には、話し合いの機会を設け、迅速に対応している。	・引き続き実施する。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・お便りを毎月発行している。	・引き続き実施する。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・記録や情報は個別に管理している。	・引き続き実施する。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚的な提示や資料を活用している。	・引き続き実施する。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・視覚的な提示や資料を活用している。	・引き続き実施する。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先からの聞き取りを行い、支援に反映している。	・引き続き実施する。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・支援後は、その都度振り返りを行っている。	・引き続き実施する。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・記録や情報は個別に管理している。	・引き続き実施する。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・訪問先や保護者の意向を尊重しながら助言を行っている。	・引き続き実施する。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・職員間で話し合い、訓練を行っている。	・引き続き実施する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・職員間で話し合い、環境整備や訓練を行っている。	・引き続き実施する。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・再発防止に向けて、報告書を作成し、職員間で協議を行っている。	・再発防止に向けて速やかに話し合いを行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部研修への参加を行っている。	・引き続き実施する。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束を行った事例はない。 ・事例が発生した場合は、適切に記録を行う体制としている。	・同意は必要に応じて取り入れていく。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぼぼひろば		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者との意思疎通や情報共有に配慮し、分かりやすい説明や丁寧な聞き取りを心掛けている。	・利用日のやり取りに限らず、必要に応じて電話や口頭での連絡を行い、情報共有や連携を図っている。 ・継続的な情報共有を通して、子どもや家庭の状況を把握し、包括的な支援につなげている。	・今後も、保護者や関係機関と細やかな連携を取りながら、包括的な支援を続けていく。
2	子どもや保護者の気持ちに寄り添い、共感的な姿勢で支援を行っている。	・子ども本人の自発性や自己決定を尊重し、関わりや支援の中に意図的に取り入れている。 ・利用日の引き継ぎにとどまらず、日々の困り感や保護者の負担感についても必要に応じて聞き取りを行い、助言や支援を行っている。	・これまでの取り組みを大切にしつつ、利用児や保護者、関係機関と連携しながら、より良い支援につなげていく。
3	子どもが安心感をもって通所できるよう、過ごしやすい環境づくりや関わりに勤めている。	・関わりや支援について、複数の視点からアセスメントを行い、振り返りや共有の時間を設けている。 ・必要に応じて、スーパーバイズを受ける機会を取り入れている。 ・日常的な環境整備に加え、月に1回以上、意図的に環境整備を行う時間を設定している。	・引き続き、安心・安全な環境づくりを意識し、安心して通所できる場を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等との交流や、地域において他の子どもと活動する機会については、十分に確保できていない。	・平日は利用時間が短く、交流活動に使える時間を十分に確保しにくい。 ・長期休暇中には他事業所との交流を行っているが、日程調整や内容の検討に時間がかかるなど、実施回数に限られている。 ・通常の支援を優先する場面が多く、交流活動を継続的かつ計画的に進める体制がまだ整っていない。	・今後は、長期休暇中の活動や地域行事への参加など、無理のない形で地域や他事業所との関わりを持つ機会を増やしていく。 ・日常の支援を大切にしながら、利用児の状況やニーズに応じて、交流の機会を段階的に増やしていく。
2	・参加可能な研修会に関する告知や情報提供は行っているが、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)については実施に至っていない。	・家族が参加できるプログラムについては、ある程度ニーズがあることは把握している。 ・ペアレント・トレーニングとして実施する体制が整っておらず、保護者の参加負担や職員の専門性への配慮から、現時点では個別相談や日常支援を通じた助言・情報提供にとどまっている。	・今後も、保護者の負担感に配慮しながら、実施方法について検討していく。
3	・父母の会の活動支援や保護者会の開催による保護者同士の交流の機会、ならびにきょうだい向けのイベント等による交流の機会については、十分に設けられていない。	・保護者の参加負担や職員の専門性への配慮から、現時点では個別相談や日常支援を通じた助言や情報提供が中心となっているが、参加の有無にかかわらず、任意で参加できる機会を用意すること自体には意義があると考えている。	・今後は、交流の場にこだわらず、個別相談や情報提供など、保護者の負担が少ない形での支援を検討していく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	たんぽぽひろば
------	---------

公表日 2026年2月13日

利用児童数

44

回収数

39

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	1	1	0	・少し狭いと思う（人数と活動内容に対して）	活動内容の応じて工夫して取り組んでいく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	2	0	0	・どの先生たちもしっかりみてくれているので安心して預けています。 ・昨年に比べると増したのかな？うれしいです。	今後も職員間で連携を取りながら安全に業務を行っていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	0	2	・されていると思います。	今後も環境整備を意識的に行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	36	0	0	1	・きれいにされていると思います ・玄関から入ってすぐ活動の部屋なので、わかりやすく広々遊べていると思います。 ・きれいで明るい空間だと思います。	環境整備に留意し、不備があれば早急に対応する。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1	0	0	・一応こちらからは他事業所の個別支援計画のDIP <sup>※</sup> を渡しているの。	今後も内部研修等を積極的に取り入れ、個々にあった関わりを心掛けていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1	0	4	・基本的にお便りの予定通りと思います。	今後も引き続き実施していく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	0	3	・専門の人ではないので少し難しい、質問項目なので分かりません。	保護者からの聞き取りや、定期的にアセスメントし計画を作成している。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	3	・質問項目が難しく分かりません。すみません。	今後も職員間で内容を検討しながら実施していく。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	3	・放課後も長期休暇中も支援してくださっています。	今後も引き続き実施していく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	2	0	1	・様々な活動ができるように工夫されていると思います。 ・以前に比べて固定化しているように思いますが、楽しみにしていた季節の行事（夏祭り、11月のボレー）やサッカー教室、休日の「おがら」などがなくなり、少し残念です。長期休みの時にはおひるごはんをつくったり外食をしたりしているような経験が詰めて居たので復活を希望します。 ・10週替わりでいろいろな活動をしてくれて、また季節ならではの活動も取り入れてくれていると思います ・若干固定化されているように思う。けど本人は心地よいと思います。	安全面に考慮しながら、ニーズに合ったプログラムの提供ができるよう検討していく。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	11	5	2	19	・子どもに聞くとなんとのこと。時間的に難しいのかな ・そのような「おがら」があるとしたらわからないが、なかったように思う。	今後実施できるよう検討していく。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	2	1	・最初の契約締結はしっかりしていたが、説明もしていただいた。	契約時に説明しているが、必要があれば丁寧に説明していく。
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	2	0	2	・されたかも、わかりません。すみません覚えてません。	口答での説明を徹底していく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	7	2	14	・集会のようなものは、催されてなかったと思います	保護者へ希望を聞き取り、検討していく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1	0	0	・一応こちらからは日々の様子や通院の様子、Drからの申し送りは使えるようにしています。	今後も密に情報共有ができるように実施していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	6	2	2	・迎えや送りの時に少しの時間でもちゃんと問題があれば共有できていると思います ・特にそうは感じないです。ただ、学校でくださるので問題はないです。	適切な助言等ができるか、その都度検討する機会を持つ。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	0	・とてもそう思います。	今後も情報共有しながら実施していく。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	7	20	・保護者会に参加したことがない。 ・そのような機会はないように思える。	実施内容を検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2	1	2	・そのような状況になったことがないのでわかりません。	その都度状況にあった対応をしていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	0	・連絡帳やTELにてしてと思っています。	通信紙やメール等も併用しながら情報提供をしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	1	0	0	・毎月活動の様子をプリントで配っていただいているので、どんなことをしているのかなど楽しみにしています。 ・毎月の子の写真的通信はとてもよい。 ・おたよりも見て、発信されているのを確認しています。	今後も個人情報に留意しながら発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	0	・十分留意されているとおもいます。	今後も慎重に取り組んでいく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	0	5	・マニュアルをみたことがないです。 ・残されていると思いますので「はい」	通信紙等で保護者へと周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	5	・定期的に避難訓練をされている。 ・おたよりの予定の中に「避難訓練」があるので行われていると思います。	利用児に応じた配慮をしながら、避難訓練を実施していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	3	0	1	・子どもの持病や特徴に十分配慮してくださっていると思います。	今後も慎重に取り組んでいく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	0	1	・細かな連絡はありがたいです。 ・まだそのような状況になったことはないと思いますが「はい」です。	今後も細やかな連絡や対応をするよう取り組んでいく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	・とっても大好きで通うのを楽しみにしています。 ・昨年から利用していますので慣れてきてると思います。	今後も安心して利用できるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	1	0	1	・いつも楽しく参加しています。 ・とっても大好きで通うのを楽しみにしています。 ・子どもは学校のお友達も多く利用しており楽しんでいっています ・子に合った対応や配慮してくださり本人も「先生は私のことわかってる」と安心してきています。ありがとうございます。 ・発語がないので実際のところはわかりません。	今後も個々に合った関わりやプログラムが提供できるよう検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2	0	0	・今後ともよろしくお願いします。 ・とっても大好きで通うのを楽しみにしています。 ・計画の説明面談等ももっと機会があつていいと思う。予約の際に希望を聞くとか、親の心配事とともに事業所から子どもに対して注意すべき点や効率的に子どもに対応できるとか。 ・満足しています。いつもありがとうございます。	今後も安心、安全でニーズに合った対応ができるよう努めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たんぼひろば				公表日		2026年 2月 13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		・遊戯室以外にも複数の部屋を確保しており、活動内容や子どもの状況に応じて適切に使い分けている。	・引き続き実施する。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・子どもの利用状況を職員間で共有し、必要に応じた職員配置を行っている。	・引き続き実施する。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・子どもの発達特性に応じて視覚的な提示を活用し、室内や戸外は高低差の少ない安全な構造としている。	・引き続き実施する。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・日常的な清掃に加え、毎月、室内外の環境整備を実施している。	・引き続き実施する。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・事前に想定を行い、職員全体への周知を図っている。	・引き続き実施する。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・毎月、定期的に職員ミーティングを実施している。	・引き続き実施する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・個別で聞き取りを行っている。	・引き続き実施する。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・毎月のミーティングや個別面談を通して意見や状況の把握を行っている。	・引き続き実施する。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・計画的に取り組みを実施している。	・定期的に外部評価を実施していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・職員は積極的に研修へ参加するよう心掛けている。	・引き続き実施する。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・毎月のお便りや予約フォームを活用し、情報を公表している。	・引き続き実施する。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		・保護者へのシート配布や関係機関との連携を通じて、客観性を意識した資料作成を行っている。	・引き続き実施する。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		・作成した内容は職員全員で確認している。	・引き続き実施する。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		・支援が適切に行えるよう、職員間でその都度話し合いを重ねている。	・引き続き実施する。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・保護者や関係機関との連携を通じて支援内容を確認している。	・引き続き実施する。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		・職員と確認を行いながら支援内容を決定している。	・引き続き実施する。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		・毎月のミーティングにて支援内容の調整を行っている。	・引き続き実施する。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		・活動プログラムは内容を工夫し、固定化しないよう配慮している。	・引き続き実施する。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・支援計画に沿った支援や療育が行えるよう意識している。	・更に意識できるように引き続き実施する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・サービス利用前に利用児の状況を把握し、支援方法を検討する場を設けている。	・引き続き実施する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援内容はその都度共有し、振り返りを行っている。	・引き続き実施する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・サービス終了後、振り返りを実施している。	・引き続き実施する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・振り返りや確認は定期的に行っている。	・引き続き実施する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・必要な支援は日々の活動の中に取り入れている。	・引き続き実施する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で意図的に場面を設定し、子どもの発達特性や状況に応じた支援方法を検討、実施している。	・引き続き実施する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者が会議や検討の場に参加している。	・引き続き実施する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて他機関との連携を行っている。	・引き続き実施する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・関係機関とのやり取りを意識的に増やし、連携および情報共有を行っている。	・引き続き実施する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて他機関との連携や情報共有を実施している。	・引き続き実施する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現状対象児はいないが、対象児がいる場合、担当者会議などに参加し、情報提供をしている。	・引き続き実施する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・関係機関との連携を積極的に行っている。	・引き続き実施する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・他事業所との関わりの機会を設けている。地域との交流は今後の課題としている。	・実施できるように検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・研修や会議等へ積極的に参加している。	・引き続き実施する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や引き継ぎ、電話連絡などを通して情報共有を行っている。	・引き続き実施する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・掲示物の掲示や資料の配布を行っている。	・実施できるように検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に重要事項について説明を行っている。	・引き続き実施する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントや聞き取りを通じて、子どもや保護者の意向を確認している。	・引き続き実施する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・契約時に改めて説明を行っている。	・引き続き実施する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から積極的に聞き取りを行っている。	・引き続き実施する。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	・父母、きょうだい同士の交流が今後の課題としている。	・実施できるように検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・相談や苦情があった際には、迅速かつ適切な対応を行っている。	・引き続き実施する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・毎月、お便りを発行している。	・引き続き実施する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個別に記録や情報の管理を行っている。	・引き続き実施する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・視覚的な提示や資料を活用している。	・引き続き実施する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・活動の中で地域の方と交流する機会を設けている。	・引き続き実施する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・契約時に避難時の対応について説明し、訓練も実施している。	・引き続き実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・毎月1回、避難訓練を実施している。	・引き続き実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・契約時に保護者と必要な情報共有を行っている。	・更に定期的に確認を実施する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・契約時や医療機関受診後に、保護者と情報共有を行っている。	・更に定期的に確認を実施する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・状況に応じて職員間で話し合いを行い、支援に反映している。	・引き続き実施する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・取り組んだ内容について口頭で説明を行っている。	・通信でも案内していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・再発防止に向け、速やかに職員間で話し合いを行っている。	・再発防止に向けて速やかに話し合いを行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・外部研修への参加を行っている。	・引き続き実施する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・身体拘束を行った事例はない。 ・万が一事例が発生した場合は、適切に記録を行う体制としている。	・引き続き実施する。	